

短期大学

紹介

2015年ネパール幼児教育スタディツアー

短期大学 助教 鶴田 真二



【日程】

2015年10月31日～11月8日

【訪問先】

リナモッチェ・ハイスクール(ネパール連邦共和国カルナリ県ディリチョール村)

※千葉明德学園の姉妹校。公立の幼稚園・小学校・中学校・高等学校・大学進学予備校が一体の学校。

【目的】

- ① 世界の最貧国であるネパール(他の途上国も含めて)の教育困難を知ること
- ② 途上国の教育とその他の分野の発展を考え日本が何を手伝えるかを考えること
- ③ 先進国である日本にも途上国とは異なる教育上の困難があること、及びその解決を考えること

【参加者】

9名

ナマステ!

短期大学創立45周年を機に企画された本ツアーに対して、ネパールに関心を寄せる2名の学生(1年生・2年生から各1名)が応募し、参加条件である論文執筆および理事長による事前学習を経て、姉妹校を訪問してきました。上記の通り、本ツアーの目的は3つありましたが、学生はそれらに加え、個々の目的を持ち、本ツアーに臨んだようです。

ネパールツアーそのものは、これまでに何度も実施されていますが、本ツアーの持つ特徴の一つは、短期大学の学生が初めて参加したことにあります。このことで、学園の教職員のみならず様々な人々が参加する色彩豊かなネパールツアーに、新たな色が付け加えられたのではないのでしょうか。

さて、学生にとって本ツアーのハイライトはディリチヨール村にある姉妹校での実習だったと思います。入学以来、学生は幼稚園などでの実習を経験していますが、それでも事前準備が不足していたことや、実習全体における見通しが甘かったことを実習後に感じたようです。しかし、言葉や習慣の違いを超えて、学生は姉妹校のこどもたちや先生と一緒に実習の時間を目一杯楽しんでおり、そこで見られた学生の姿は普段と変わらず素敵でした。実習を通して、学生はこれまでのツアー参加者と姉妹校の皆さんとが築いてきた関係性を肌で感じる事ができたのではないかと思います。学生を温かく受け入れてくださった姉妹校の皆さんに感謝しています。

11月28日(土)、評議員会で学生による報告会が予定されています。学生はツアー中に理事長からこのことを知らされ少々驚いていましたが、私は学生が本ツアー全体から、また姉妹校での実習からどのようなことを学んだのかを一人でも多くの方々に報告できることを楽しみにしています。

ダンニャバード!